

## 2019 年度事業活動計画

(1) 2019 年度事業計画の基本的な考え方

以下 3 つの状態を実現するために事業を行う。

- 人生の集大成の社会貢献である遺贈寄付が本人の望む最適な形で実現すること
- 多様な市民公益に配慮した遺贈寄付ができるようになること
- 遺贈寄付が地域の未来資産になるように、世代を超えて継承されるものになること

設立 4 事業年度目に入る 2019 年度は、過去 3 年間で組織としての基盤を築き、その基盤を更に強化していく 3 年間の初年度として、これまで通り、「情報提供事業」「普及啓発事業」「人材育成事業」「アドボカシー事業」の 4 事業を軸に、特に「普及啓発」「人材育成」と、それを可能にするために「組織基盤強化」に注力する。

### 1. 情報提供事業

ポータルサイト「いぞう寄付の窓口」に掲載する各種情報を充実させるほか、遺贈寄付を取り巻く変化や法律等の変化等に敏感に反応し、必要時関係各所へ情報を発信する。

### 2. 人材育成事業

これまでの間に遺贈寄付の NPO 向けの基礎研修と専門士業向けのアドバイザー研修のコンテンツが開発され、毎年研修が開催されてきた。今年度も引き続きこれらの研修を行う他、昨年度の特に NPO 向けの研修参加者のアンケート結果等を振り返る中で、もう少し実務に寄せた研修ニーズであったり、実際のケースからピアの学びを希望する声が聴かれたため、基礎研修からもう少し実務や具体的に迫ったアドバンス研修コンテンツを開発・実施するほか、「遺贈寄付サロン」を開催し、遺贈寄付を受ける団体が相互に学べる機会を作る。

人材育成に関しては、①NPO 等活動団体向け、②専門士業向け、③加盟団体の相談窓口担当向けの 3 本柱とし、それぞれ以下の方針に基づき研修を行う。

#### ①NPO 等活動団体向け

これまでの人材育成事業を通じて、これから遺贈寄付の導入を検討する NPO 等活動団体と、既に遺贈寄付を受けている団体では研修ニーズが異なることが判明した。ゆえに、NPO

向けの研修の提供・構成を以下の2軸で整理する。

<裾野を広げるための研修>

#### NPO 向け遺贈寄付研修

引き続き遺贈寄付ガイドブックに基づいた入門的研修を提供する。全国レガシーギフト協会の主催としては、年間2回を予定。1回目は東京、2回目は地方都市開催。適宜加盟団体との共催などを検討する。

<より質の高い遺贈寄付相談人材育成を目指すための研修>

#### 遺贈寄付サロン

すでに遺贈を受けている団体が、より遺贈寄付の受け入れ体制を整備できるようになったり、協会としても実際行われている相談についての情報や、相談対応のノウハウを蓄積させていくため、遺贈寄付サロン（仮）を行い、アクティブに遺贈寄付の受贈経験のある団体同士の交流を図る。（後述の法人会員制度と絡める）

#### 遺贈寄付アドバンス研修プログラムの立案・実施

遺贈寄付サロン等を通して蓄積されたケースや、ノウハウを活かして年末までにアドバンス研修プログラムを立案。年明けに実施。

#### ②専門士業向け研修

引き続き、専門士業向け研修を行い、遺贈寄付アドバイザーとして登録頂ける登録士業の養成を続ける。研修については、専門士業が丸一日の研修に参加することが困難である場合が多いこと等を考慮し、アドバイザー研修の運営方針を考慮した上で、加盟団体と協力しながら研修を行っていく。

#### ③加盟団体相談窓口向け研修

遺贈寄付相談のノウハウや、ユニークな遺贈寄付の事例をタイムリーに共有したり、全国規模での普及活動を推進していくために、2019年度は計画的に相談窓口研修を実施する。

<研修予定>

遺贈寄付サロン@東京

- ・1回目：6月19日（水）
- ・2回目：8月22日（木）
- ・3回目：10月23日（水）
- ・4回目：12月17日（火）
- ・5回目：2月17日（月）

NPO向け基礎研修、アドバイザー向け研修

- ・1回目@東京：10月18日（金）
- ・2回目@どこか：12月上旬（寄付月間がらみ&地方開催予定 加盟団体とも相談）

NPO向けアドバンス研修：1月24日（金）

相談窓口研修

- ・1回目：6月24日（月）総会と同日開催
- ・2回目：1月24日（金）アドバンス研修と同日開催

### 3. 普及啓発事業

設立当初より継続的に主要紙・週刊誌において特集が組まれる他、協会のポータルサイトの解説、Facebook を通した情報拡散を継続してきた。また、協会のパンフレット、遺贈寄付関連書籍、2018 年度事業で作成した小冊子やショートビデオなど、遺贈寄付の基本的情報を分かり易く一般市民や関係者に伝えていくツールは揃ったため、2019 年度はこれらのツールを活用し、引き続き広く一般市民に遺贈寄付という選択肢の存在を呼びかけていくほか、遺贈寄付の潜在的なニーズを持つ層と接点を持つ方々に戦略的にアプローチをするほか、引き続き遺贈寄付アンバサダーを広め、インフルエンサーを活用した普及啓発活動を展開する。

#### 4. アドボカシー事業

全国レガシーギフト協会の取組みや実績についてメディアの取材対応を行う他、遺贈寄付の普及に繋がる調査・研究等へ協力をする。

#### 5. 組織基盤強化

遺贈寄付を広めていく仲間を更に増やしていく目的と、協会の財政基盤の安定化を図り、正会員以外の会員制度を設立し、様々な立場で協会の活動に関わって頂く導線を確保する。また、会員制度の改訂にともない、決済システムや寄付者・関係者管理等の事務的基盤を整備する他、ウェブサイトが安全かつ便利にアクセスできるよう、体制を整備する。また、より質の高い相談支援事業を担保するためにも、協会全体のガバナンス・コンプライアンス体制を見直す。具体的には以下の通り

##### ①各種委員会の実施

常任委員会、遺贈寄付推進委員会、相談者委員会を規定に沿い適宜実施し、決定事項を速やかに運営にうつす。

##### ②事務局運営

上記委員会での検討・決定事項や事業計画がスムーズに履行されるよう、定期的に事務局内でミーティングを行い、進捗を管理する。

##### ③法人会員制度の導入とそれに伴うマネジメント体制の構築

法人、寄付者、会員、遺贈寄付アドバイザーの管理（システムの導入も含む）を行う。また、団体の相談事業に関するコンプライアンスや免責事項の見直し、情報の質の担保等について、組織としてレビューする機会を設けることなどを盛り込んだガイドラインを作成する。